到達目標	研修内容	必要な 症例数	研修歯科医の 指導体制	症例数の 数え方	修了判定の 評価基準
(1) 医療面接  ①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。  ② 全身状態を考慮した上で、顎の基本的な解釈する。  ③ 診察所見に応じた適切な検査を実施し、診察所見に応じた適切な検査を表し、診察所見に応じた適切な検査を表し、検査結果を解釈する。  ④ 病歴聴取、診察所見及び検査を釈する。  ⑤ 診断結果を解析を指表のである。  ⑤ 診断結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	2) 見学実習 3) 外報博士 1) 当科内で行われる 研修医見学を協科 2) 見来導歯科医との 3) 外報導歯科医との 2) 見来でいる 3) 外報導歯科医との 4) 指導歯科医との 4) 指導歯科で行わの参加 2) 見来でいる 4) おりで行わの参加 2) 見来ではいる 3) 外は導歯科で行わの参加 2) 見来ではいる 4) おりで行わの参加 4) おりで行われる 4) おりで行われる 4) おりで行わの参加 4) おりで行わる 4) おりで行わる 4) おりで行われる 4) おりで行われる 4) おりで行わの参加 4) おりで行われる 4) おりで行わる 4) おりで行わる 4) おりで行われる 4) おりで行わる 4) おりででした。 4) はりでした。 4) はりでし	20症例	上級歯科医・指導歯科医・ が研修・・ が研修を研修を ・ が出し、 を 歯科を が を が を が を が を が に 、 に 、 治 歯 を が に 、 治 歯 を に 、 治 歯 を に 、 治 歯 を が に 、 治 に 、 治 に 、 治 に 、 、 に 、 に 、 に 、 と し 、 と し 、 と し 、 と し 、 と し 、 と の と し 、 と の と の と の と の と の と の と の と の と の と	医療を 療動連 を を を を を を を を を を を を を	目標達成の基準 の基準では の以上 の以上 の の の の の の の の の の の の の の は さ と が の の に を が の の に を が の に る た さ と と を る た る た る た る た る た る と る と る た る と る と
る。 ⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。 (2) 基本的臨床技能等 ① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	計 1) 当科内で行われる 研修医セミナーへの参加 2) 見学実習 3) 外来や病棟で診察 4) 指導歯科医との検 計 1) 当科内で行われる 研修医セミナーへの参加 2) 見学実習 3) 外来や病棟で診察 4) 指導歯科医との検 計				
②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患b. 歯髄疾患c. 歯周病d. 口腔外科疾患e. 歯質と歯の欠損f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	歯髄検査、エックス線検 査、MRI検査、CT検査、核 医学検査、胸語料系 クス線写真の読影、査 検査、止血機能検査、近 機能検査、呼吸機能検 査など) 4) 指導歯科医との検 計 5) 症例発表 1) 当科内で行われる 研修医セミナーへの参加	20症例	上級歯科医・指導歯科医 が研修歯科医に患者を配 当し、研修歯科医は上 場の下、指導歯を行う。 で、指導歯科医の指 等の下、導歯科をに で、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	診察なるでは、 ををしてするでは、 をはまれているでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	目と例い要ら目30し必は評を 標し以るたまご以い。導に 成、経としてのとをこ何科で要指価に が①行最経と発医がの行場解と発医が を選出して必い動低験が表が 準20でのに発達と発医階標 でいるが動低験が表が)達
3。 ④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。 ⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。	2) 見学実習 3) 外来や病棟で診察 1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 意識の確認、脈拍の触診、血圧計や酸素飽和 度測定機器の使用法の習得 3) 外来や病棟で診察 1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 見学実習 3) 指導歯科医との検 討		がある場合は、指導歯科医等の患者の症例を配当する。	れを経験する ことが望まし い。)	成 成 ボ 準 が ま 準 が は と を を は に し に し と を に に し に に し に し に に し に に に に に に に に に に に に に
⑥ 医療事故の予防に関する基本 的な対策について理解し、実践 する。	4) 外来や病棟で診察 1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 病院全体で行われる				

到達目標 (3) 患者管理	研修内容	必要な 症例数	研修歯科医の 指導体制	症例数の 数え方	修了判定の 評価基準
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。			上級歯科医・指導歯科医 が研修歯科医に患者を記当し、 当し、研修歯科医は 事の下、治療を行う。 また、治療を行う。 また、治療を行う。 また、科科医科医 修歯 としるの 患者の を もの で、 治療 を は に な が を が と で 、 治療 を が と で 、 は が を が と で 、 は が を が と し て 、 は の で 、 は り と て 、 と し て 、 と し て 、 る ら の し る 。 の ま の も の ま の ま の ま る の 。 の ま る 。 の ま る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	治療の流れを験の流れを験し症えるのでは場合しに何るのです。 流で合し、いれるのででであるのでであるのです。 はないであるのではない。 はないである。	目と例い要ら目例に要請価では、 を主にいるのでは、 を主になるでは、 を主になるでは、 を主になるでは、 を主になるでは、 を主になるでは、 を主になるのでは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を
② 患者の医療情報等について、 必要に応じて主治の医師等と診 療情報を共有する。	1) 指導歯科医との検討 2) 外来や病棟で診察	5症例			
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	1) 指導歯科医との検討 2) 外来や病棟で診察				
④ 歯科診療時の主な併発症や偶 発症への基本的な対応法を実践 する。	1) 指導歯科医との検討 2) 外来や病棟で診察				
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。 (4) 患者の状態に応じた歯科					
医療の提供					
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。	<ol> <li>指導歯科医との検討</li> <li>外来や病棟で診察</li> </ol>	4症例	上級歯科医・指導歯科医 が研修歯科医に患者を配 当し、研修歯科医は上級 歯科医・指導歯科医の指 導の下、治療を行う。 また、指導歯科医児 を があるの進捗 に、 で を がある場合は で 、 場 を の 、 場 の で 、 指 導 の で 、 指 導 の で 、 指 導 は に 、 の で 、 だ に が に 、 が に が に 、 が に 、 が に 、 が に 、 が に 、 、 、 、	治療の流れを験1 連した例と。流るのするしにがあるのがでではです。 があるのでであるのがあるい。 があるい。	目標をは、 は、 は、 で、 をし、 とし、 ととし、 ととし、 でででででに、 をできるに、 ででに、 をこだでのに、 をこだでのに、 をことがでいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
③ 障害を有する患者への対応を 実践する。	1) 指導歯科医との検 討 2) 外来や病棟で診察				C 0.94 °

到達目標	研修内容	必要な 症例数	研修歯科医の 指導体制	修了判定の 評価基準
(1) 歯科専門職の連携				
① 歯科衛生士の役割を理解し、 予防処置や口腔衛生管理等の際 に連携を図る。	1) 見学実習 2) 外来や病棟で診 察 3) 指導歯科医との 検討	10症例	上級歯科医・指導歯科医 が研修歯科医に患者を配 当し、研修歯科医は上級 歯科医・指導歯科医の下、治療を行う。 また、治歯が大に、 は歯科医の下、治歯が大いる症が はいるが、 を強し、場合の はが、 はいるの はいるの はいるの はいるの はいるの はいる。 はいるの はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。	目と例い要行10 口歯(5、準が上とがよいの低験が関係し上ででは、10 では、10
② 歯科技工士の役割を理解し、 適切に歯科技工指示書を作成す るとともに、必要に応じて連携 を図る。	1) 見学実習 2) 外来や病棟で診 察 3) 指導歯科医との 検討			
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	研修医セミナーへの参			
(2) 多職種連携、地域医療				
① 地域包括ケアシステムについて 理解し、説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加2) 口頭試問1) 当科内で行われる	①②は1症 (間)で例 (国)で例 (国)で例。	上級歯科医・指導歯科医が 研修歯科医に患者を配当 し、研修歯科医は上級歯科 医・指導歯科医の指導の 下、治療を行う。 また、指導歯科医は、研修 歯科医の進捗状況を把握 し、不足している症例がある場合は、指導歯科医等の 患者の症例を配当する。	①てへ修頭科段目と以得要少目合験と必る参と問が)達で、13、3、4、4、4、4、5、4、6、6、6、6、6、6、6、6、6、6、6、6、6、6
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。				
③ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。	研修医セミナーへの参加 2)外来や病棟で診察			
④離島やへき地における地域医療 を実践する	1) 協力施設での研修			
④ 歯科専門職が関与する多職種チーム (例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等) について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。	研修医セミナーへの参加 2) 栄養サポートチームに参加			
⑤ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。				

到達目標	研修内容	必要な 症例数	研修歯科医の 指導体制	修了判定の 評価基準
(3)地域保健				必修となってい
① 地域の保健・福祉の関係機関、 関係職種を理解し、説明する。	1) 当科内で行われる 研修医セミナーへの参加 2) 口頭試問	各1症例	各研修歯科医を担当する指 導歯科医による口頭試問を 行う。	るセミナーへの 参加により修了 とする。ロ頭試 問は指導歯科医 が評価(5段 階)を行い、目
② 保健所等における地域歯科保健 活動を理解し、説明する。	1) 当科内で行われる 研修医セミナーへの参加 2) 口頭試問	表)		標達成の基準として、評価が3 以上を1例以上 取得することが 必要。
(4)歯科医療提供に関連する制 度の理解				
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	文献・インターネット 検索、口頭試問		各研修歯科医を担当する 指導歯科医による口頭試 問を行う。	必修となっているセミナリのでは、 を対しているがある。 を対している。 というには、 といると、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と
<ul><li>② 医療保険制度を理解し、適切な 保険診療を実践する。</li></ul>	1) 当科内で行われる 研修医セミナーへの参加 2) 外来や病棟で診察 3) 指導歯科医との検 討	①③1症例 (口頭試 問)、② 10症例。		問は指導歯科医 が評価(5段 階)を行い、目 標達成の基準と して、評価が3 以上を1例以上 取得することが
③ 介護保険制度の目的と仕組みを 理解し、説明する。	文献・インターネット 検索、口頭試問	10/1E P <sup>1</sup> 0		必要。②は目標 達成の基準とし て、合計10例以 上経験している ことが必要。